

令和7年度全国高等学校総合体育大会 第75回全国高等学校スキー大会実施要項（アルペン種目）

主 催 （公財）全国高等学校体育連盟 （公財）全日本スキー連盟
長野県 長野県教育委員会 上田市 上田市教育委員会

共 催 読売新聞社

後 援 スポーツ庁 （公財）日本スポーツ協会 NHK
（公財）長野県スポーツ協会 （一財）上田市スポーツ協会

主 管 （公財）全国高等学校体育連盟スキー専門部 長野県高等学校体育連盟
（公財）長野県スキー連盟 （一社）菅平高原スキークラブ

1 期 日 令和8年2月4日（水）～8日（日）
(1) 開会式 令和8年2月4日（水）
(2) 競 技 令和8年2月5日（木）～8日（日）

2 会 場 (1) 開会式 上田市菅平高原国際リゾートセンター
(2) 競 技 上田市菅平高原パインビークオオマツスキー場

3 種 目

男女	ジャイアントスラローム スラローム
----	----------------------

4 日 程

月 日	時 刻	競 技 内 容	会 場
2月3日 (火)	9:00	コース公開	パインビークオオマツスキー場
2月4日 (水)	9:00	公式練習	パインビークオオマツスキー場
	16:00	開会式	菅平高原国際リゾートセンター
	17:00	男子ジャイアントスラロームTCM	
2月5日 (木)	9:00	男子ジャイアントスラローム	オオマツチャンピオンコース
	17:00	女子ジャイアントスラロームTCM	菅平高原国際リゾートセンター
2月6日 (金)	9:00	女子ジャイアントスラローム	オオマツチャンピオンコース
	17:00	男子スラロームTCM	菅平高原国際リゾートセンター
2月7日 (土)	9:00	男子スラローム	オオマツチャンピオンコース
	17:00	女子スラロームTCM	菅平高原国際リゾートセンター
2月8日 (日)	9:00	女子スラローム	オオマツチャンピオンコース

令和7年度全国高等学校総合体育大会 第75回全国高等学校スキー大会実施要項（クロスカントリー種目）

主 催 （公財）全国高等学校体育連盟 （公財）全日本スキー連盟
新潟県 新潟県教育委員会

共 催 読売新聞社

後 援 スポーツ庁 （公財）日本スポーツ協会 NHK
（公財）新潟県スポーツ協会 十日町市 十日町市教育委員会
（一社）十日町市スポーツ協会

主 管 （公財）全国高等学校体育連盟スキー専門部 新潟県高等学校体育連盟
（公財）新潟県スキー連盟 十日町市スキー協会

協 力 陸上自衛隊高田駐屯地第2普通科連隊

1 期 日 令和8年2月5日（木）～8日（日）
（1）競 技 令和8年2月6日（金）～8日（日）
（2）閉会式 令和8年2月8日（日）

2 会 場 （1）競 技 十日町市吉田クロスカントリー競技場
（2）閉会式 十日町市吉田ふれあいスポーツセンター

3 種 目

男 子	10 k m クラシカル 10 k m フリー リレー（10 k m × 4 人 1・2 走クラシカル 3・4 走フリー）
女 子	5 k m クラシカル 5 k m フリー リレー（5 k m × 3 人 1 走クラシカル 2・3 走フリー）

4 日 程

月 日	時 刻	競 技 内 容	会 場
2月5日 （木）	10：30	クロスカントリー種目 TCM	吉田ふれあいスポーツセンター
2月6日 （金）	10：00	女子 5 k m（フリー）	吉田クロスカントリー競技場
	13：00	男子 10 k m（フリー）	
2月7日 （土）	10：00	女子 5 k m（クラシカル）	吉田クロスカントリー競技場
	13：00	男子 10 k m（クラシカル）	
2月8日 （日）	10：00	女子リレー 5 k m × 3 人	吉田クロスカントリー競技場
	11：30	男子リレー 10 k m × 4 人	
	15：30	閉会式	吉田ふれあいスポーツセンター

令和7年度全国高等学校総合体育大会 第75回全国高等学校スキー大会 実施要項（ジャンプ種目）

主 催 （公財）全国高等学校体育連盟 （公財）全日本スキー連盟
北海道 北海道教育委員会 名寄市 名寄市教育委員会

共 催 読売新聞社

後 援 スポーツ庁 （公財）日本スポーツ協会 NHK
（公財）北海道スポーツ協会 （一財）Nスポーツコミッションなよろ

主 管 （公財）全国高等学校体育連盟スキー専門部 北海道高等学校体育連盟
（公財）北海道スキー連盟 名寄地方スキー連盟

協 力 陸上自衛隊名寄駐屯地

1 期 日 競技：令和8年2月3日（火）～5日（木）

2 会 場 スペシャルジャンプ 名寄市：名寄ピヤシリシャンツェ
ノルディックコンバインド 名寄市：名寄ピヤシリシャンツェ
名寄市：なよろ健康の森クロスカントリーコース

3 種 目

男子	スペシャルジャンプ ノルディックコンバインド
女子	スペシャルジャンプ（公開競技） ノルディックコンバインド（公開競技）

4 日 程

月 日	時 刻	競 技 内 容	会 場
2月2日 （月）	9：00	ジャンプコース公開 クロスカントリーコース公開	名寄ピヤシリシャンツェ なよろ健康の森クロスカントリーコース
2月3日 （火）	8：30	ジャンプ種目TCM	名寄ピヤシリシャンツェ
	9：30	スペシャルジャンプ公式練習 引き続き ノルディックコンバインドジャンプ公式練習・予備ラ ウンド(PCR)	
2月4日 （水）	9：30	スペシャルジャンプ （男子競技に引き続き女子公開競技）	名寄ピヤシリシャンツェ
2月5日 （木）	9：30	ノルディックコンバインドジャンプ （男子競技に引き続き女子公開競技）	名寄ピヤシリシャンツェ
	13：30	女子ノルディックコンバインド クロスカントリー5km（フリー）（公開競技）	なよろ健康の森クロスカントリーコース
	14：00	男子ノルディックコンバインド クロスカントリー10km（フリー）	

5 競技規則

(公財)全日本スキー連盟競技規則最新版に準拠した(公財)全国高等学校体育連盟スキー専門部規程によるほか、本大会要項による。

6 引率・監督

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、都道府県高体連会長に事前に届け出る。
- (2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入すること。
但し、各都道府県における規定があり、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。

7 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。
- (2) 選手は、都道府県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、スキー専門部に登録し、学校所在地の都道府県において、(公財)全日本スキー連盟にSAJ会員登録とSAJ競技者登録(SAJデータバンク登録者一覧に記載された者)を完了し、当該競技実施要項により全国大会の参加資格を得た者に限る。但し、都道府県高体連に専門部が設置されていない種目については、加盟校の生徒であることとする。
- (3) 年齢は、2006年(平成18年)4月2日以降に生まれたものとする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (4) チーム編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 複数校合同チームの大会参加は認めない。但し、統廃合の対象となる学校については、統廃合完了前の2年間に限り合同チームによる大会参加を認める。
- (6) 転校後・転籍後6カ月未満の者は同一競技への参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。但し、一家転住など、やむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。大会開始前のエントリー変更期限前に6カ月が経過し、出場資格が発生した場合、団体競技種目や団体戦では、エントリーの変更のルールがある場合には、そのルールに従って変更を認める。
- (7) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属する高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- (8) 参加資格の特例
 - ① 上記(1)、(2)に定める生徒以外で、当該競技実施要項により大会参加資格を満たすと判断され、都道府県高等学校体育連盟会長が推薦した生徒について、大会参加資格の別途に定める規定に従い大会参加を認める。
 - ② 上記(3)の但し書きについて、学年の区別を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回までとする。

【大会参加資格の別途に定める規定】

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。2 以下の条件を具備すること。<ol style="list-style-type: none">(1) 大会参加資格を認める条件<ol style="list-style-type: none">① 本連盟の活動の目的を理解し、それを尊重する。 |
|---|

- ② 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあつては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。
 - ③ 各学校にあつては、都道府県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。
 - ④ 各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失しておらず、運営が適切であること。
- (2) 大会参加に際し守るべき条件
- ① 大会開催基準要項を遵守し、競技種目別大会参加申込事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - ② 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害・賠償責任保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ③ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

8 出場制限

- (1) 1校からの出場選手について、アルペン種目及びクロスカントリー種目は、1種目男女とも3名以内とし、補欠は両種目とも1名とする。但し、エントリー数が都道府県出場枠に満たない場合、その都道府県出場枠内順位で当該校4番目の選手（追加枠）の出場を認める。ジャンプ種目（スペシャルジャンプ、ノルディックコンバインド）は、制限を加えず、補欠は存在しない。但し、いずれの場合も都道府県予選通過者に限る。リレーは1チームとする。（男子は6名連記、女子は5名連記）また、出場選手は1人2種目以内とする。但し、リレーはこの限りではない。
- (2) 令和7年度都道府県種目別出場人員枠を別表1のとおりに制限する。
- (3) 予選会の開催が不可能な都道府県は、当該高等学校体育連盟スキー専門部長及び各都道府県高等学校体育連盟会長の推薦によって出場することができる。
- (4) （公財）全日本スキー連盟推薦による海外派遣等のため、各都道府県予選会に出場できなかった者は、所定の手続きの上、その都道府県の枠外で本大会に出場できる。（海外特枠選手）但し、この場合は、補欠選手との交代はできない。
- (5) 開催都道府県は、各種目3名、リレー1チームの増を認める。
- (6) 補欠選手は、各都道府県の予選会において、その都道府県の出場枠内順位であつて各校出場枠（追加枠含む）外にあつた場合、その種目該当校に1名の補欠選手を認める。補欠選手を設けた場合は、補欠選手の数だけ予選会の順位を繰り上げてエントリーすることができる（各都道府県の出場枠に、補欠選手は含まない）。
- (7) 出場選手のランキングは、各都道府県予選会の順位とする。但し、補欠選手及び1校出場枠を超える選手があつた場合は、繰り上げランキングとする。追加枠のランキングについては、予選会順位順で追加枠のランキングとする。
- (8) 外国人留学生の参加については、男女とも1校1名までとする。
- (9) 女子ジャンプ種目（スペシャルジャンプ、ノルディックコンバインド）（公開競技）においては、在学する学校の校長及び所属する都道府県高等学校体育連盟会長の承認を得るものとする。

9 スタート順

スタート順は次のとおりとする。

- ① アルペン種目は、男女とも3グループ内でSAJポイント順とし、第1グループ内の第1シード選手15名及び各グループ内のSAJノーポイント・同ポイントの選手においては、10.(1)の抽選によりスタート順を決める。
- ② クロスカントリー種目は、第3、第4、第2、第1グループ順を原則とする。（リレーは除く）

- ③ ジャンプ種目は、第1、第2、第3、第4グループ順を原則とする。
- ④ ノルディックコンバインド種目のクロスカンントリー10kmは、グンダーセン方式とする。
- ⑤ 補欠選手と正選手の交代は、当該種目実施前日の午後4時までに大会実施本部において受け付け、組織委員会の判断において決定する。交代が認められた選手は、アルペン種目についてはTCMで連絡する。併せて、大会実行委員会ウェブサイトで告知する。
- ⑥ アルペン種目の補欠選手との入れ替えは、正選手のグループ内へ補欠選手を入れ、ドローは補欠選手が保有するSAJポイントにて行うこととする。

10 抽 選

- (1) アルペン種目は、各競技日前日のTCMで行う。
- (2) ノルディック種目は、あらかじめ仮出発番号を定めるものとし、各都道府県の出場制限数によって各グループの仮出発番号の抽選を行う。
- (3) 抽選方法は次のとおりとする。
 - ① アルペン種目は3グループに、ノルディック種目（リレーは除く）は4グループに区分する。
 - ② ノルディック種目のグループ分けは、出場枠に応じてランキング1から順に第4グループから割り振る。以下、第3・第2・第1グループまで均等に分ける。
 - ③ アルペン種目は、9.①に記載のとおり、第1グループ内のSAJポイント上位15名を第1シードとして抽選する。また、各グループ内のSAJノーポイント・同ポイントの選手も抽選によりスタート順を決める。
 - ④ 各グループ別人数については、アルペン種目は都道府県出場枠人数、ノルディック種目は出場実人数とし、別表2により区分する。
 - ⑤ （公財）全日本スキー連盟推薦による海外特枠選手の区分は、アルペン種目は第1グループ、ノルディック種目については第4グループの後に位置し、それが複数の場合は、抽選でスタート順を決める。

11 採点方法

- (1) 入賞得点は次のとおりとする（女子公開競技は点数計算に入らない）。

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
得点	11	9	8	7	6	5	4	3	2	1

- (2) 個人入賞で同順位の場合は、次位を空席とし該当する得点を合計し、同順位者数で割った点数を得点とする。
- (3) 総合優勝は総合最高得点校であり、同点の場合は各種目の上位入賞者数（3位まで）により決定する。なお、それでも決定しない場合は、リレー競技の順位により決定する。
- (4) 総合の2位以下の順位決定は得点順とするが、同点の場合は同順位とし、次位を空席とする。
- (5) 海外特枠選手を出場させている学校で、1校4名以上の出場となった場合、学校対抗得点対象選手3名を指定して申し込み、申し込み後の変更は認めない。
また各種目において、1校4名以上の出場となった場合、学校対抗得点対象選手3名を指定して申し込み、申し込み後の変更は認めない。但し、対象外者の得点は次位者に与える。
- (6) 前項8.出場制限(1)に示す追加枠の選手については、得点対象としない。

12 表 彰

- (1) 総合の部
 - ① 優勝校には、男女とも（公財）全国高等学校体育連盟会長杯及び文部科学大臣杯を授与する。（持ち回りとする）
 - ② 賞状は、男女とも1位から6位まで授与する。
 - ③ 優勝校には、男女ともNHK杯及び読売新聞社杯を授与する。
 - ④ 表彰は閉会式において行う。

(2) 種目別の部

- ① 男女とも1位から10位まで賞状を授与する。(追加枠を含む)
- ② 男女とも各種目3位まで(公財)全日本スキー連盟制定のメダルを授与する。
- ③ 表彰は各競技終了後、各競技で指定した会場で行う。
- ④ 競技最終日のクロスカントリー男女リレー競技の表彰は、新潟県十日町市で閉会式前に行う。
- ⑤ 女子ジャンプ種目(スペシャルジャンプ、ノルディックコンバインド)(公開競技)は、(公財)全国高体連スキー専門部で6位まで表彰する。

13 参加申込

(1) 申込書類

- | | |
|---|-----------|
| ① 大会参加申込通知書 | (様式1) |
| ② 都道府県選手団役員編成表 | (様式2) |
| ※選手団役員の編成は、団長・副団長・総監督・総務・種目別監督各1名とする。 | |
| ③ 種目別参加申込書 | (様式3A・3N) |
| ④ 都道府県別リレー参加申込書 | (様式3R) |
| ⑤ 学校別出場認知書【男女別とする】 | (様式4) |
| ※各学校の監督・マネージャーはそれぞれ3名以内とする。 | |
| また、SAJ競技者管理番号の記入のないものは受け付けない。 | |
| ⑥ 都道府県選手団 宿泊申込書 | (様式5) |
| ⑦ 学校別 宿泊申込書 | (様式6) |
| ⑧ 都道府県役員 宿泊申込書 | (様式7) |
| ⑨ 視察申請及び宿泊申込書【視察員を派遣する都道府県のみ】 | (様式8) |
| ⑩ 都道府県予選会の公式記録(リザルト) | 1部 |
| (リザルト形式でない場合、順位、タイムが明記されており、専門委員長の印があること) | |
| ⑪ 参加承諾願(海外特別枠)(写し) | (様式9) |

(2) 申込方法

- ① 各参加校の業務(第75回大会の様式を使用すること)
下記の書類を作成し、各都道府県申込責任者へ提出する。
(様式4) 学校別出場認知書
※選手氏名の漢字、学年、生年日、SAJ競技者管理番号などを確認する。
(様式6) 学校別宿泊申込書
- ② 各都道府県申込責任者(各都道府県専門委員長)の業務
ア 上記(1)の申込書類を作成及び取りまとめる。
(様式3A) (様式3N) 種目別参加申込書
(様式3R) 都道府県別リレー参加申込書
※選手氏名の漢字、学年、SAJ競技者管理番号などを確認する。
また、(別表1) 都道府県出場枠、(別表2) 抽選グループ別人数を照らし合わせ、枠数、グループについても確認する。
イ 申込期限までに、全ての書類を下記実行委員会事務局に電子メールを送信する。
様式1、4については、開会式会場で所定の場所に提出すること。(郵送は行わない)
様式1、様式4、様式9の公印及び公式記録のサインの無いものは受け付けない。
ウ 参加料・プログラム代金(合計金額)は、種目ごとに指定された口座への「銀行振込」とする。振込金受領書のコピーを申込書類とともに開会式会場で提出する。
※振込人には、「都道府県名 氏名」のように、必ず都道府県名を明記する。
エ 申込期限に遅れたもの、申込書類に不備があるものは受け付けない。
オ 申し込み後の選手(補欠を含む)の変更は認めない。

(3)申 込 先

r7ski.ih@gmail.com

(4) 申込期限

参加申込書類一式： 令和8年1月19日（月）正午 必着

(5) 参加料（選手のみ、女子公開競技選手も含む）

個 人：1種目 4,500 円

リレー：男子1チーム 8,000 円、女子1チーム 6,000 円

【*参加申し込みと同時に納入する】

(6) プログラム

プログラムについては、参加校には各種目1部を無料配布する

代金は1部1,500円とし、申し込みと同時に参加選手数分を参加料と合わせて納入すること。

【 振 込 先 】

(1) アルペン種目

金融機関名	八十二銀行 長野北支店
店番号	2 2 0
普通口座	5 1 7 6 0 4
口座名義	第75回全国高等学校スキー大会 長野県実行委員会

(2) クロスカントリー種目

金融機関名	第四北越銀行（0140）古町支店
店番号	2 8 0
普通口座	6 3 1 9 8 1 5
口座名義	第75回全国高等学校スキー大会新潟県実行委員会 会長 稲川俊啓

(3) スペシャルジャンプ・ノルディックコンバインド種目

金融機関名	旭川信用金庫富良野支店
店番号	0 3 8
普通口座	1 3 2 1 0 2 0
口座名義	全国スキー大会北海道実行委員会 岡本浩一

14 宿 泊

宿泊申込については、指定された方法・締め切り期限厳守で申し込むこと。

詳細については、「宿泊・弁当要項」を参照のこと。

15 傷害処置

出場選手が競技中に傷害を負った場合は、主催者が応急処置を行い、必要に応じて救急車を要請する。以後は各学校で処置するものとする。

16 注意事項

- (1) 参加選手は、万一の事故に備えて傷害・賠償責任保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じること。
- (2) 出場選手は、必ず引率責任者によって引率され、引率責任者は全ての行動に対して責任を負う。
- (3) 都道府県選手団代表者は、競技別実施本部で受付を済ませること。

受付開始：令和8年2月2日（月）～ 【午前9時～午後4時半まで】

＊ジャンプ種目は令和8年2月2日（月）TCM時とする
受付場所：アルペン会場 【菅平高原国際リゾートセンター】
クロスカントリー会場【十日町市吉田クロスカントリーハウス】
ジャンプ・コンバインド会場 【名寄ピヤシリシャンツェ管理棟】

17 大会実行委員会事務局及び大会実施本部

【アルペン種目】大会実行委員会事務局

〒380-0802 長野県長野市上松 1-16-12（長野県長野高等学校 金鷄会館内）
令和7年度全国高等学校総合体育大会第75回全国高等学校スキー大会
長野県実行委員会事務局

TEL 026-234-1205 事務局専用 070-7530-0075

FAX 026-234-1240

E-mail r7ski.nagano@gmail.com

大会HP <https://sites.google.com/view/75th-hp>



<大会実施本部（～2月10日）>

〒386-2204 長野県上田市菅平高原 1223-1751「菅平高原国際リゾートセンター」内
令和7年度全国高等学校総合体育大会第75回全国高等学校スキー大会実施本部（事務局）

TEL 070-7530-0075

E-mail r7ski.nagano@gmail.com

【クロスカントリー種目】大会実行委員会事務局

〒947-0005 新潟県小千谷市旭町 7-1（小千谷高等学校内）

令和7年度全国高等学校総合体育大会第75回全国高等学校スキー大会
新潟県実行委員会事務局

TEL 0258-83-2262 事務局専用070-1367-1862

FAX 0258-82-0646

E-mail r7ski.niigata@gmail.com

大会HP 準備中

<大会実施本部（～2月13日）>

〒948-0103 新潟県十日町市小泉240-1 十日町市吉田クロスカントリーハウス内

令和7年度全国高等学校総合体育大会第75回全国高等学校スキー大会

クロスカントリー種目実施本部

TEL 070-1367-1862

E-mail r7ski.niigata@gmail.com

【ジャンプ種目】大会実行委員会

〒076-0037 北海道富良野市西町 1-1（北海道富良野高等学校内）

令和7年度全国高等学校総合体育大会第75回全国高等学校スキー大会
北海道実行委員会事務局

TEL 0167-22-2594 FAX 0167-22-2594

E-mail r7ski.hokkaido@gmail.com

大会HP nayoro-ski.net（名寄地方スキー連盟）

＜大会実施本部（２月２日～）、ジャンプ種目実施本部＞

〒096-0066 北海道名寄市日進「名寄ピヤシリジャンツェ管理棟」内
令和７年度全国高等学校総合体育大会第 75 回全国高等学校スキー大会
ジャンプ種目実施本部

TEL 090-8638-9156

E-mail r7ski.hokkaido@gmail.com

18 個人情報及び肖像権に関わる取扱い

- (1) 大会プログラムや掲示板等に掲載され、競技場内でアナウンスされることがある。また、大会会関係ウェブサイトに掲載されることがある。
- (2) 本大会実行委員会に認められた報道関係機関が撮影した映像・写真・記録等は、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載されることがある。
- (1) 大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとして、これ以外の目的に使用することはない。参加申込書類の提出により、上記取扱いに関する承諾をいただいたものとして対応する。また、大会役員、競技役員、大会関係者及び会場に来られる観客の皆様についてもこれに準ずる。

令和7年度全国高等学校総合体育大会 第75回全国高等学校スキー大会 女子スペシャルジャンプ・ノルディックコンバインド公開競技要項

- 1 期 日 令和8年2月3日（火）～2月5日（木）
 (1) 公式練習・PCR 令和8年2月3日（火）
 (2) 競 技 令和8年2月4日（水）～5日（木）
 (3) 表 彰 式 各競技終了後

- 2 会 場 スペシャルジャンプ 名寄市 名寄ピヤシリシャンツェ
 ノルディックコンバインド 名寄市 名寄ピヤシリシャンツェ
 名寄市 なよろ健康の森クロスカントリーコース

3 日 程

月 日	時 刻	競 技 内 容	会 場
2月2日 (月)	9:00	ジャンプコース公開 クロスカントリーコース公開	名寄ピヤシリシャンツェ なよろ健康の森クロスカントリーコース
2月3日 (火)	8:30	ジャンプ種目TCM	名寄ピヤシリシャンツェ
	9:30	スペシャルジャンプ公式練習 引き続き ノルディックコンバインドジャンプ公式練習 予備ラウンド(PCR)	
2月4日 (水)	9:30	スペシャルジャンプ (男子競技に引き続き女子公開競技)	名寄ピヤシリシャンツェ
2月5日 (木)	9:30	ノルディックコンバインドジャンプ (男子競技に引き続き女子公開競技)	名寄ピヤシリシャンツェ
	13:30	女子ノルディックコンバインド（公開競技） クロスカントリー5km（フリー）	なよろ健康の森クロスカントリーコース
	14:00	男子ノルディックコンバインド クロスカントリー10km（フリー）	

4 競技規則

（公財）全日本スキー連盟競技規則最新版に準拠した（公財）全国高等学校体育連盟スキー専門部規程によるほか、本大会要項による。

5 引率・監督

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は、校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則78条の2に示された者）も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、都道府県高体連会長に事前に届け出る。
- (2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入すること。
- 但し、各都道府県における規定があり、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。

6 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。
- (2) 選手は、都道府県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、スキー専門部に登録し、学校所在地の都道府県において、（公財）全日本スキー連盟にSAJ会員登録とSAJ競技者登録（SAJデータバンク登録者一覧に記載された者）を完了し、当該競技実施要項により全国大会の参加資格を得た者に限る。但し、都道府県高体連に専門部が設置されていない種目については、加盟校の生徒であることとする。
- (3) 年齢は、2006年（平成18年）4月2日以降に生まれたものとする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (4) チーム編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 複数校合同チームの大会参加は認めない。但し、統廃合の対象となる学校については、統廃合完了前の2年間に限り合同チームによる大会参加を認める。
- (6) 転校後・転籍後6カ月未満の者は同一競技への参加を認めない（外国人留学生もこれに準ずる）。但し、一家転住などやむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。大会開始前のエントリー変更期限前に6カ月が経過し、出場資格が発生した場合、団体競技種目や団体戦では、エントリーの変更のルールがある場合には、そのルールに従って変更を認める。
- (7) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属する高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- (8) 参加資格の特例
 - ① 上記(1)、(2)に定める生徒以外で、当該競技実施要項により大会参加資格を満たすと判断され、都道府県高等学校体育連盟会長が推薦した生徒について、大会参加資格の別途に定める規定に従い大会参加を認める。
 - ② 上記(3)の但し書きについて、学年の区別を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回までとする。

【大会参加資格の別途に定める規定】 （大会実施要項参照）

7 抽 選

（公財）全日本スキー連盟のSAJポイント順とする。

8 表 彰

（公財）全国高等学校体育連盟スキー専門部より、1位から6位まで賞状を授与する。表彰は、競技終了後、各競技の指定する会場で行う。

9 参加申込

(1) 申込書類

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">① 種目別参加申込書（様式3N（公開））② 大会参加申込通知書（様式1）③ 学校別出場認知書（様式4） ※SAJ競技者登録番号の記入のないものは受け付けない④ 宿泊申込書（様式5）（様式6）
※③④は、公式競技の申込書類に女子スペシャルジャンプ・ノルディックコンバインド参加選手を含めて記入すること |
|--|

(2) 申込方法

各都道府県責任者が、本大会用の書式とともに上記(1)の様式を作成し申し込むものとする。

送付先 r7ski.ih@gmail.com

(3) 申込期限

参加申込書類一式： 令和8年1月19日（月）正午 必着

(4)参加料（選手のみ）

個人：1種目4,500円【※参加申し込みと同時に納入する】

(5)プログラム

参加選手・マネージャーは全員購入とする。

代金は1部1,500円とし、申し込みと同時に参加選手数分を参加料と合わせて納入すること。

参加校には、各種目1部を無料配布する。

【振込先】

金融機関名	旭川信用金庫富良野支店
店番号	038
普通口座	1321020
口座名義	全国スキー大会北海道実行委員会 岡本浩一

10 宿泊

宿泊申込については、指定された方法・締め切り期限厳守で申し込むこと。

詳細については、「宿泊・弁当要項」を参照のこと。

11 傷害処置

出場選手が競技中に傷害を負った場合は、主催者が応急処置を行い、必要に応じて医療機関まで輸送する。以後は各学校で処置するものとする。

12 注意事項

- (1) 参加選手は、万一の事故に備えて傷害・賠償責任保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
- (2) 出場選手は、必ず引率責任者によって引率され、引率責任者はすべての行動に対して責任を負う。
- (3) 都道府県選手団代表者は、ジャンプ種目TCM時（2月2日）に受付を済ませること。

13 実行委員会事務局及び大会実施本部（大会実施要項参照）

令和 7 年度全国高等学校総合体育大会
第75回全国高等学校スキー大会
式典要項

1 目 的

簡素な中にも、高校生らしい活気にあふれ、さわやかでなごやかな雰囲気を醸成し、全国から集う高校生を温かく迎え、友情の輪が広がる式典を目指す。

2 式典の趣旨

- (1) 高校生らしく明るく若さあふれるものを基調とする。
- (2) 簡素な中にも温もりがあり、大会機運を盛り上げる創意工夫した運営に努める。
- (3) 開・閉会式次第は「全国高等学校総合体育大会開催基準要項」による。
- (4) 参加する高校生（選手・スタッフ）にとって、学校教育活動との関連性を考慮し、最大限の教育効果を求めた工夫・配慮を行う。
- (5) 開会式はオンライン配信を予定する。

3 式典の種類

式典は、開会式、種目別表彰式、閉会式（総合表彰式）とする。

4 開 会 式

- (1) 期 日 令和 8 年 2 月 4 日（金） 16：00 から
- (2) 会 場 長野県菅平高原国際リゾートセンター
- (3) 次 第

No.	次 第	時 刻	備 考
1	開式通告	16:00	（公財）全国高等学校体育連盟スキー専門部長
2	開会宣言	16:01	長野県高等学校体育連盟会長
3	優勝杯返還・レプリカ授与	16:02	前年度総合優勝 男子 長野県 飯山高等学校 （レプリカ授与） 女子 秋田県 秋田北鷹高等学校
4	大会長あいさつ	16:10	（公財）全国高等学校体育連盟
5	あいさつ	16:13	（公財）全日本スキー連盟
6	祝辞	16:16	長野県副知事
7	歓迎の言葉	16:19	開催地代表
8	選手宣誓	16:23	選手代表（長野県選手団 2 名）
9	閉式通告	16:28	（公財）全国高等学校体育連盟スキー専門部副部長

(4) その他

- ① 開会式に参加する都道府県選手団の人数は、団長を含め 3 名以内とする。
- ② 各都道府県監督・選手団の責任者は、午後 3 時から 3 時 45 分までに受付を完了すること。
- ③ 団長・選手団は午後 3 時 45 分には所定の位置に着席すること。（開会式会場配置図参照）
- ④ 優勝杯返還者、宣誓者は午後 3 時 00 分までに来場し、係より指示を受けること。
- ⑤ 前年度優勝校は、返還する優勝杯（全国高体連会長杯・文部科学大臣杯）を持参する。
- ⑥ 入場行進は実施せず、各県の選手団は午後 3 時 45 分までに指定された場所に着席する。
- ⑦ 選手宣誓は長野県選手団宣誓者が行う。「選手宣誓」のアナウンスで、選手団は全員起立し、宣誓者が自席に戻ると同時に、全員着席する。
- ⑧ 閉式通告後、来賓・招待者等から退場するため、選手団は退場アナウンスがあるまで、自席で待機する。

5 表 彰 式

(1) 会 場 各種目で指定する会場で行う。

(2) 種目別の部

- ① 男女とも1位から10位まで賞状を授与する。
- ② 男女とも各種目3位まで（公財）全日本スキー連盟制定のメダルを授与する。
- ③ 表彰は各競技終了後、別表＜5表彰式（5）＞のとおり各競技会場で行う。
- ④ 競技最終日の男女リレーの表彰は、閉会式前に閉会式会場で行う。
- ⑤ 女子ジャンプ種目（公開競技）は、（公財）全国高体連スキー専門部で6位まで表彰する。
- ⑥ 表彰式には、必ずビブスを着用し、スキー用具等を持ち込まない。

(3) 次 第

- ① 開式通告
- ② 成績発表
- ③ 表 彰（授与者 全国高体連、全日本スキー連盟、大会実行委員会 他）
- ④ 閉式通告

(4) 総合の部

- ① 優勝校には、男女とも（公財）全国高等学校体育連盟会長杯及び文部科学大臣杯を授与する。
（持ち回りとする）
- ② 優勝校には、男女ともNHK杯及び読売新聞社杯を授与する。
- ③ 賞状は、男女とも1位から6位まで授与する。
- ④ 表彰は閉会式において行う。

(5) 表彰式の会場・時間

種 目		表彰会場	表彰時間
2月4日 (水)	男女スペシャル ジャンプ	名寄ピヤシリシヤンツェ	競技終了後
2月5日 (木)	男女ノルディックコンバインド	なよろ健康の森クロスカントリー コース	競技終了後
	男子ジャイアントスラローム	菅平高原国際リゾートセンター	16:30
2月6日 (金)	女子クロスカントリー5km（フリー）	吉田クロスカントリー競技場	12:00
	男子クロスカントリー10km（フリー）	吉田クロスカントリー競技場	15:30
	女子ジャイアントスラローム	菅平高原国際リゾートセンター	16:30
2月7日 (土)	男子スラローム	菅平高原国際リゾートセンター	16:30
	女子クロスカントリー5km（クラシカル）	吉田クロスカントリー競技場	12:00
	男子クロスカントリー10km（クラシカル）	吉田クロスカントリー競技場	15:30
2月8日 (日)	女子スラローム	菅平高原国際リゾートセンター	15:00
	女子リレー（5km×3人）	吉田ふれあいスポーツセンター	15:10
	男子リレー（10km×4人）	吉田ふれあいスポーツセンター	
閉会式	学校対抗女子総合	吉田ふれあいスポーツセンター	15:30
	学校対抗男子総合	吉田ふれあいスポーツセンター	

6 閉会式

- (1) 期 日 令和8年2月8日（日） 15：30から
(2) 会 場 十日町市： 十日町市吉田ふれあいスポーツセンター
(3) 次 第

No.	次 第	時 刻	備 考
1	開式通告	15:30	(公財) 全国高等学校体育連盟スキー専門部長
2	成績発表	15:31	(公財) 全国高等学校体育連盟スキー専門部委員長
3	学校対抗表彰	15:35	(公財) 全国高等学校体育連盟
4	大会長あいさつ	15:45	(公財) 全国高等学校体育連盟
5	閉会宣言	15:55	新潟県高等学校体育連盟会長
6	閉式通告	15:57	(公財) 全国高等学校体育連盟スキー専門部副部長
7	役員・選手退場		

(4) そ の 他

- ① 各都道府県役員・選手は、午後3時20分までに集合し、会場内の指定された位置に着席する。
- ② 表彰は、次の順で行う。
- 総合の部 女子総合（優勝校は代表者6名、2位から6位まで各校1名）
男子総合（優勝校は代表者6名、2位から6位まで各校1名）

令和 7 年度全国高等学校総合体育大会 第 75 回全国高等学校スキー大会 宿泊・弁当要項

1 目 的

この要項は、第 75 回全国高等学校スキー大会に参加する選手、監督、大会役員、視察員、メーカー及び報道関係者（以下「大会参加者」という。）の宿泊等に関して必要な事項を定めるものとする。

2 基本方針

第 75 回全国高等学校スキー大会実行委員会（以下「実行委員会」という。）は、関係機関、団体等の協力を得て、大会参加者の宿泊等に万全を期するものとする。

3 業務の実施

実行委員会は、大会参加者の宿泊に関する業務実施のため、以下の業者と連絡調整のうえ業務を行うとともに、宿泊に関する問題等が生じた場合は、適宜対処する。

アルペン会場 ：菅平高原観光協会

クロスカントリー会場：共立観光株式会社十日町支店

4 宿泊施設の選定及び確保

宿泊施設の選定及び確保については次により行うものとする。

- (1) 宿泊施設は原則として、アルペン会場は菅平高原地区、クロスカントリー会場は十日町市内及び周辺の旅館、ホテル等（旅館業法の許可を得て営業を行う施設）の中から確保するものとする。
- (2) 風紀上、衛生上又は防災上支障があると認められる宿泊施設は選定しないものとする。

5 配 宿

配宿は、次の事項に留意して実施する。

- (1) 選手及び監督の宿舎は、競技場までの交通状況、競技種目、都道府県、学校及び性別を考慮して配宿する。
- (2) 大会役員及び競技役員は、できる限り同一又は近隣の宿泊施設に配宿する。
- (3) 一人当たりの宿泊に要する広さは、旅館業法等関係法令で定める基準によるものとする。
- (4) 配宿された宿泊施設の変更は、原則として認めないものとする。任意に変更したことによって生じた紛議及び損失については、変更した者がその責任を負うものとする。

6 宿泊料金等

宿泊料金、料金精算及び適用期間等は、次のとおりとする。

(1) 宿泊基準

宿泊とは、入宿日の午後 3 時以降、出発日の午前 10 時までの宿泊施設の利用をいうものとし 1 泊 2 食（夕・朝食）を原則とする。

(2) 宿泊料金、料金精算及び適用期間

◎アルペン会場、クロスカントリー会場共通事項

・選手・監督は、【様式 4】第 75 回全国高等学校スキー大会学校別出場認知書（以

下様式4という)に記され、当該校長、高等学校体育連盟会長及びスキー専門部長が認めた者をいう。

◎アルペン会場

① 宿泊料金

選手・監督(マネージャー・コーチ含む)、都道府県役員、大会役員、報道関係者、メーカー等

区 分		宿 泊 料 金
A	1泊2食	9,900円 (暖房料・奉仕料・消費税込)
B	1泊2食	11,000円 (暖房料・奉仕料・消費税込)
C	1泊2食	12,100円 (暖房料・奉仕料・消費税込)
・シングルルーム使用等、客室を1人や少人数で利用する場合などは、割増料金となる。 ・別途会議室等を設けることはできない。		

② 宿泊料金適用期間

区 分	適 用 期 間
第75回全国高等学校スキー大会 (アルペン種目)	令和8年1月31日(土) 午後3時から 令和8年2月9日(月) 午前10時まで

◎クロスカントリー会場

① 宿泊料金

ア) 選手・監督(マネージャー・コーチ含む)

区 分		宿 泊 料 金
A	1泊2食	10,000円 (暖房料・奉仕料・消費税込)
B	1泊2食	12,000円 (暖房料・奉仕料・消費税込)
C	1泊2食	13,500円 (暖房料・奉仕料・消費税込)
D	1泊2食	15,000円 (暖房料・奉仕料・消費税込)
・シングルルーム使用等、客室を1人や少人数で利用する場合などは、割増料金となる。 ・温泉施設に宿泊の場合は、1泊/人120~150円の入湯税は宿泊料金に含まれる。		

イ) 都道府県役員、大会役員、報道関係者、メーカー等

区 分		宿 泊 料 金
E	1泊朝食	10,000円 (暖房料・奉仕料・消費税込)
・1名1室利用となる。 ・夕食は、各自で対応すること。 ・別途会議室等を設けることはできない。		

② 宿泊料金適用期間

区 分	適 用 期 間
第75回全国高等学校スキー大会 (クロスカントリー種目)	令和8年2月1日(日) 午後3時から 令和8年2月9日(月) 午前10時まで

(3) 欠食控除料金

宿泊者が夕食を欠食する場合は、下記の期限までに宿泊施設に直接申し出た場合に限り、宿泊料金より下記の料金を控除する。

区 分	欠食控除料金（夕食 1 食あたり）	申 出 期 限
夕 食	宿泊料の 30%（消費税を含む。）を上限とし、宿泊施設が定めた額を控除する。	前日正午まで

※ 朝食の欠食については、取り扱いをしない。

※ 申出期限後の変更は控除対象とならない。

(4) 宿泊料金等の精算

宿泊料金は、宿泊者本人又は宿泊者の中から定めた宿泊責任者が、原則として宿泊最終日までに直接宿舎に支払うものとする。

(5) 昼食弁当の取り扱い

今大会は、全ての会場において昼食弁当の取り扱いは行わない。

7 宿泊申込

(1) 宿泊の申し込みは、所定の宿泊申込書（様式 5 ～ 8）に必要事項を記入し、申込期限までに各都道府県代表者が E-mail で一括して申し込む。

(2) 申 込 先

区 分	申込期限	宿泊申込先
選手監督 都道府県役員 視察員	令和 8 年 1 月 19 日（月） ＜正午必着厳守＞	第 75 回全国高等学校スキー大会 実行委員会事務局 E-mail r7ski.ih@gmail.com
報道関係者 メーカー	令和 7 年 12 月 15 日（月） ＜必着厳守＞	

(3) 報道関係者・メーカー等については、期限厳守で直接申し込むものとする。

なお、ワックスメーカーに関しては、ワックスルーム必要の有無を明記すること。

(4) 宿泊申込書が申込期限までに到着しない場合は、宿泊の申し込みを受理しない。

(5) 宿泊申込責任者は、宿泊者の中から宿泊責任者を定めるものとする。

(6) 正式申込の前に宿泊概数人数の来会調査（令和 7 年 8 月予定）を実施する。

(7) 仮配宿決定（令和 7 年 12 月予定）後、菅平高原観光協会及び共立観光（株）十日町支店よりメールで「宿泊決定通知書」等を各都道府県申込責任者へ連絡する。

8 宿泊の変更及び取消し

宿泊の変更及び取消しの場合は、すべて宿泊申込責任者が宿泊施設へ速やかに申し出るものとし、その効力の発生は、申し出があった日時とする。

9 宿泊取消料金

(1) 宿泊取消料の支払い

大会参加の取りやめ等、やむを得ない理由により宿泊を取り消した場合の、1 人当たり 1 泊の宿泊取消料金は次のとおりとし、宿泊責任者又は宿泊者本人が当該宿舎へ直接支払うものとする。

宿泊取消の申し出区分	宿泊取消料	備 考
宿泊予定日の 3 日前まで	無料	連続した宿泊予約では、左記に該当する申し出区分にかかる取消料をお支払いいただきます。
宿泊予定日の 2 日前から 宿泊予定日の前日正午まで	宿泊料金の 50%	
宿泊予定日の前日正午～宿泊当日	宿泊料金の 100%	

(2) 選手・監督の負傷・疾病等による特例

本大会において、選手・監督の負傷・疾病等又は本大会運営の都合等により宿泊を取り消す場合は、上記の規定にかかわらず特例として次のとおりとする。なお、この特例は選手・監督以外には適用しない。

宿泊取消の申し出区分	宿泊取消料	備 考
宿泊予定日の前日まで	無料	連続した宿泊予約では、左記に該当する申し出区分にかかる取消料をお支払いいただきます。
宿泊予定当日	宿泊料金の 50%	

(3) 宿泊の最終責任者

宿泊者本人又は宿泊責任者が宿泊取消料を支払うことができない場合は、宿泊申込責任者が最終的に責任を負うものとする。

10 食 事

- (1) 大会参加者に提供する食事は、衛生面及び栄養面に十分配慮するものとする。
- (2) 食事の時間については、宿泊責任者が宿舎と綿密な連絡をとり、競技等に支障をきたさないよう時間調整を行うものとする。

11 そ の 他

- (1) 宿泊施設は、宿泊者に対して避難経路の説明をするなど防災面についても十分に配慮するものとする。
- (2) 宿泊施設は、選手等に風紀上悪影響を与えないよう教育的配慮をする。
- (3) 乾燥室及びワクシング等のスキーの手入れは、宿泊施設の指示に従い、指定された場所で行うものとする。
- (4) 個人情報については、個人情報保護に関する法令を遵守し、申し込まれた方との連絡や宿泊、昼食の手続き等に必要な範囲内でのみの利用とする。

令和7年度全国高等学校総合体育大会 第75回全国高等学校スキー大会 交通輸送要項

1 目 的

この要項は、第75回全国高等学校スキー大会に参加する選手、監督、大会役員、視察員及び報道関係者（以下「大会参加者」という。）や一般観覧者の交通輸送に万全を期するために必要な事項を定める。

2 基本方針

第75回全国高等学校スキー大会実行委員会（以下「実行委員会」という）は大会参加者及び一般観覧者の交通輸送にあたり、関係機関、団体等の協力を得て、道路及び交通事情等を勘案し、総合的な計画のもと安全並びに円滑な大会運営を図る。

3 輸送対策

(1) 会場までの往復

大会参加者の全国からの集合・解散は、自由集合及び自由解散とする。

バス、自家用車、レンタカー等を持ち込む場合は、実行委員会を実施する事前調査の際に、その旨を明記する。

(2) 宿泊施設と競技会場

原則として参加者が移動手段を確保する。

(3) 監督会議及び開・閉会式の輸送

各種会議と開閉会式の輸送については、自由集合及び自由解散とする。

(4) 一般観覧者の輸送

一般観覧者の来場は自由とするが、できる限り公共交通機関を利用し、会場の混雑防止に努める。

4 交通案内対策

競技会場周辺に、交通案内板等を適宜設置する。

5 交通対策

(1) 交通規制

会場に通じる道路及び会場周辺の道路において、必要に応じて交通規制を行うものとし、大会車両についても交通規制に従い、安全運転の励行に努める。

(2) 自動車の利用

① 大会期間中、やむを得ず自家用車等を利用する場合は、事前に実行委員会と連絡を取り、大会関係車両の標章の交付を受け、当該車両のダッシュボードの上等に掲示しなければならない。

② 路面の凍結及び積雪等によるスリップ事故等の交通事故を防止するため、必ずタイヤチェーンを携行・装着又は、4輪スタッドレスタイヤなどの万全な装備をすること。

(3) 駐車場

- ① 各会場の駐車場は、駐車収容能力に限度があるため、実行委員会から許可証の交付を受けるとともに、大会関係車両は駐車区分により必ず指定された駐車場を利用すること。
- ② 駐車場を使用する場合は、交通誘導員・警備員等の指示に必ず従うこと。

6 リフト搭乗取り扱い

大会参加者は、各スキー場・施設が指定した料金で利用する。ただし、リフト料金及び期間は、別表に記載されたとおりとする。

<別表>

○利用料金及び期間

期 間	スキー場	料 金	対象者
令和8年 2月3日 (火) ～ 8日(日)	菅平高原パインビーク オオマツスキー場	4,800 円 (1日券)	選手(補欠含) 監督・コーチ・マネージャー(コース滑走者)・視察員・都道府県役員
		無 料	競技役員・報道関係者・サービスマン(ADカード又はビブス着用)
令和8年 2月3日 (火) ～ 5日(木)	名寄ピヤシリシャンツェ	無 料	選手・監督・コーチ・マネージャー 視察員・都道府県役員・競技役員・ 報道関係者・サービスマン(ADカード又はビブス着用)・協力隊

※リフト券の販売に関しては、当日券売所の混雑も予想されるため、前日販売も行う。
詳細が決定次第、大会公式ホームページにて案内するので、そちらを参照のこと。

7 レンタカー・タクシーの利用について

レンタカー・タクシーの斡旋は行わない。直接、事前に業者と連絡を取って利用すること。

8 その他

この要項に定めるもののほか、交通輸送に関して必要な事項については、別に定める。

令和7年度全国高等学校総合体育大会 第75回全国高等学校スキー大会 医療救護要項

1 目 的

この医療救護要項は、令和7年度全国高等学校総合体育大会第75回全国高等学校スキー大会に参加する選手・監督、役員、視察員及び報道関係者等の医療及び救護について、基本的事項を定める。

2 基本方針

令和7年度全国高等学校総合体育大会第75回全国高等学校スキー大会各種目実行委員会（以下「実行委員会」という。）は、関係機関と相互に連絡調整を行い、関係機関の協力を得て業務を推進し、大会の円滑な運営を図る。

3 救護所の設置

- (1)大会期間中、競技開始から終了時まで各会場に救護所を設置する。
- (2)救護所では、感染症が疑われる場合を除き、応急処置を行い必要に応じて救急車を要請し医療機関に移送する。

4 救護所以外における医療

- (1)練習等の場合
 - ・練習時間等において負傷、発病した場合は、監督・引率責任者は競技会場の係員等に申し出、責任を持って対処する。
 - ・救急車の要請が必要な場合は、監督・引率責任者は競技会場の係員等に申し出、必要に応じて会場施設管理事務所を通す。
- (2)宿泊施設で発病した場合
監督・引率責任者は宿舎に申し出るとともに医療機関等へ連絡し、必ず付き添い受診する。
- (3)実行委員会事務局への連絡
医療機関を受診した場合は、監督・引率責任者は後刻傷病の状況を、各種目実行委員会事務局に連絡する。

5 医療機関での受診方法

各種健康保険の被保険者等の資格証「健康保険証」または、「保険証連携済みのマイナンバーカード」を提示して受診する。また、独立行政法人日本スポーツ振興センター加入者は「医療等の状況」の用紙を持参する。

6 医療費等の負担

- (1)医療機関等での診療に要する費用は、すべて受診者の負担とする。また、「健康保険証」の提示がない場合は全額自己負担となるので注意すること。
- (2)救急車以外の車両を使用し、医療機関を受診する際にかかった交通費は受診者が負担する。
- (3)大会参加に際しては、万一の事故の発生に備えて傷害・賠償責任保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じること。

7 参加生徒等の健康状況把握について

監督・引率責任者は、引率するすべての参加生徒の健康状況を把握し、救護所や医療

機関で医師等に正確に伝えられるよう準備すること。（特にアレルギー、心臓疾患、その他既往症の有無等）

8 医療機関の案内

- (1) 競技会場では、救護所及び会場係員等が医療機関の紹介をする。
- (2) 宿泊施設では、フロントで最寄りの医療機関の紹介をする。
- (3) 各会場の医療機関

<アルペン種目（長野県上田市）>

●上田市医師会

医療機関、医療情報検索サイトです。

URL:<http://ueda-med.or.jp/iryokikan.html>



◆携帯・スマートデバイス

※QRコードを読み込んでください。

<クロスカントリー種目（新潟県十日町市）>

●にいがた医療情報ネット

医療機関、医療情報検索サイトです。

◆URL：<https://qq.niigata-iyaku.jp/qq15/qqport/kenmintop/>

◆携帯・スマートデバイス

※QRコードを読み込んでください。



●十日町市・津南町医療機関

○休日・夜間・救急対応医療機関

診察日や診療時間については、受診前に必ず電話で確認すること。

医療機関等名	所在地	電話	診療科目
県立十日町病院	十日町市高田町三丁目南32-9	025-757-5566	内科、外科、整形外科 他
町立津南病院	津南町下船渡丁 2682	025-765-3161	内科

○十日町市・津南町内医療機関一覧

- ・十日町市ホームページ <https://www.city.tokamachi.lg.jp/>
- ・津南町ホームページ <https://www.town.tsunan.niigata.jp>
- ・(一社)十日町市中魚沼郡医師会ホームページ
<https://www.tokamachi-tsunan-med.jp>

●南魚沼市医療機関

○休日・夜間・救急対応医療機関

診察日や診療時間については、受診前に必ず電話で確認すること。

医療機関等名	所在地	電話	診療科目
南魚沼市民病院	南魚沼市六日町 2643-1	025-788-1222	内科、外科、整形外科 他
魚沼基幹病院	南魚沼市浦佐 4132	025-777-3200	内科、外科、整形外科 他
齋藤記念病院	南魚沼市欠之上 478-2	025-773-5111	脳神経外科

○南魚沼市内医療機関一覧

- ・南魚沼市ホームページ <https://www.city.minamiuonuma.niigata.jp>
- ・(一社)南魚沼郡市医師会ホームページ <http://www.minamiuonuma-med.jp>

<ジャンプ種目（北海道名寄市）>

●上川北部医師会

医療機関、医療情報検索サイトです。

◆URL：<https://www.khmed.jp/>

●名寄市役所の検索サイトです。

◆URL：<http://www.city.nayoro.lg.jp/section/soumu/prkeql000000845j.html>

◆携帯・スマートデバイス

※QRコードを読み込んでください。



●名寄市内医療機関

○休日・夜間・一次救急対応医療機関

【診療時間外の救急案内】 名寄市立総合病院 救急外来

平日夜間 17:00～8:30 土・日・祝日・年末年始 24時間

○名寄市内医療機関一覧

医療機関等名	所在地	電話	診療科目
片平外科・脳神経外科	名寄市大通南3丁目	01654-3-3375	外科・脳神経外科・整形外科他
たに内科クリニック	名寄市西8条南11丁目28-159	01654-3-1223	内科
なよろ眼科	名寄市大通南7丁目1	01654-3-0746	眼科
名寄三愛病院	名寄市西1条北5丁目1-19	01654-3-3911	内科・歯科他
名寄中央整形外科	名寄市西2条南6丁目10番地	01654-3-2006	内科・整形外科他
吉田病院	名寄市西3条南6丁目8-2	01654-3-3381	内科・耳鼻咽喉科・歯科他
名寄東病院	名寄市東6条南5丁目91-3	01654-3-2188	内科・消化器内科他
名寄市立総合病院	名寄市西7条南8丁目1番地	01654-3-3101	総合内科・外科・整形外科他
名寄市風連国民健康保険診療所	名寄市風連町本町76-1	01655-3-2545	内科・外科

9 救護所に備えてある書類

- (1) 受診依頼書
- (2) 独立行政法人日本スポーツ振興センター提出用
 - (ア) 医療の状況等
 - (イ) ①病院用(入院用・入院外用) ②柔道整復師用 ③調剤用
- (イ) 災害報告書

10 感染予防対策

- (1) こまめな手洗いやうがい等基本的感染対策を励行し、自ら感染予防に努めること。
- (2) 感染症が疑われる場合は、感染者の治療と感染拡大防止に努めるとともに、宿泊施設の責任者及び実施本部に速やかに申し出ること。

11 その他

大会期間中に起きた傷病については、「(公財)全国高等学校体育連盟傷病見舞金規定」及び「傷病見舞金審査基準に関する申し合わせ事項」を参考とする。